

平成30年度政府予算等に関する
要 望 書
【四国への新幹線導入】

平成29年7月

平素は、四国地域発展のため、格別の御支援を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、昨年3月、北海道から九州までが新幹線で繋がり、ついに四国は全国で唯一、新幹線の具体的計画のない地域として取り残されました。そのため、四国は高速交通ネットワークの利便性が他地域と比べて著しく低く、地方創生に取り組む他地域との競争に、大きく後れを取っております。

現在、国においては、新幹線などの高速交通ネットワークを整備することによって、地域の活性化につなげていく「地方創生回廊」の実現に取り組まれています。そのためには、全国各エリアに新幹線が整備されることが不可欠であると考えます。

特に四国の新幹線は、今後の四国の将来を見据えた地域づくりに必要不可欠なインフラであるのみならず、西日本の広域交流圏形成、国土軸のリダンダンシー確保による災害耐力の向上、国土全体の一段の有効活用にも大きく寄与するものと考えます。

本日、一日も早い四国の新幹線整備の実現を目指し、四国4県をはじめとする行政と主要経済団体など、計46団体で構成する四国一体・官民一体の推進組織「四国新幹線整備促進期成会」を立ち上げました。

今後、この期成会を中心に、四国全体が一丸となって、取り組んでまいりますので、国におかれましては、四国の新幹線の整備計画への格上げに向けた調査を実施するための平成30年度予算措置を講じていただくとともに、既存整備計画路線の完成前倒し、基本計画路線の早期建設による「地方創生回廊」実現のため、小規模にとどまっている新幹線建設予算を大幅増額していただきますよう要望いたします。

○要望事項

1. 四国の新幹線の整備計画格上げに向けた調査に関して、平成30年度予算措置を講じていただきたい。
2. 「地方創生回廊」の実現のため、新幹線建設予算を大幅増額していただきたい。